

コミュニティ・スクール の実態と校長の意識に 関する調査

—学校(校長)調査結果(速報)(抄)—

日本大学
佐藤晴雄

※本資料は、調査結果の速報として、得られたデータの一部を報告するものである。

調査の実施概要

1. 調査目的と内容

校長及び教育委員会のコミュニティ・スクールに対する意識を探ると共に、コミュニティ・スクールにおける学校運営協議会の活動実態を、学校支援活動や学校評価等の法定外(権限外)活動にも注目しながら明らかにすることによって、学校運営協議会の検証に迫り、そして新たなコミュニティ・スクールの在り方を探るための資料を得ることを目的とする。

調査では、コミュニティ・スクールの成果と課題、学校運営協議会の権限及び権限外活動(学校支援活動及び学校関係者評価ほか)の実態、導入・指定をめぐる状況及び今後の展望等を取り上げた。

2. 調査対象

(1)学校調査

①コミュニティ・スクール指定校(平成26年4月現在)

1,919校(有効回収数/率: 1,512校/78.8%)

②コミュニティ・スクール未指定校(同上)

1,919校(指定校同数を抽出)(有効回収数/率: 1,662校/84.0%)

※このほか、未入力分もある(学校調査126校、教委調査57カ所)。

(2)教育委員会調査

1,788カ所(悉皆)(有効回収数/率: 1,467カ所/82.0%)

有効回収数のうち、コミュニティ・スクール導入教委185カ所、未導入教委1,282カ所

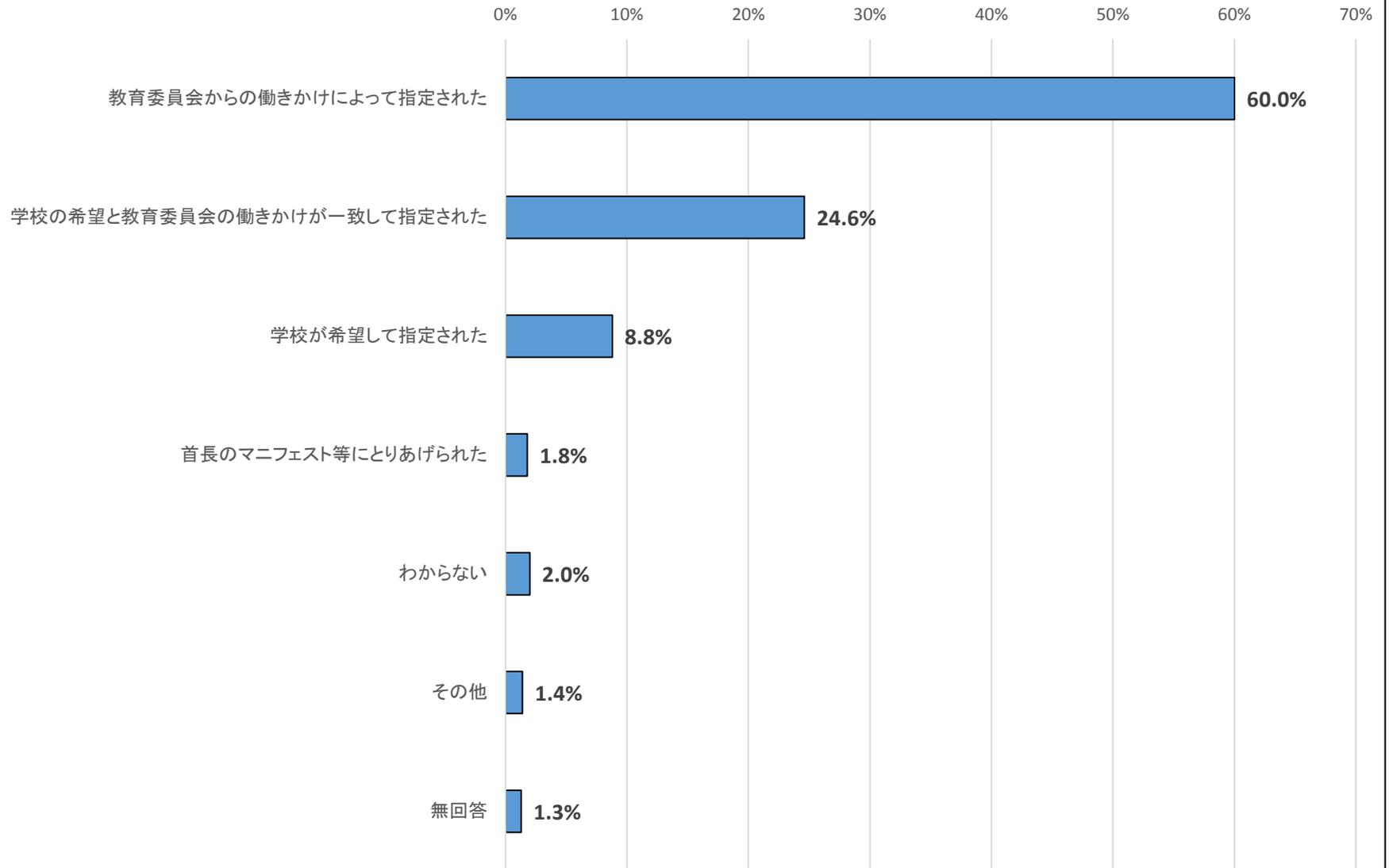
3. 調査方法

eメール発送と郵送回収による自記式アンケート調査

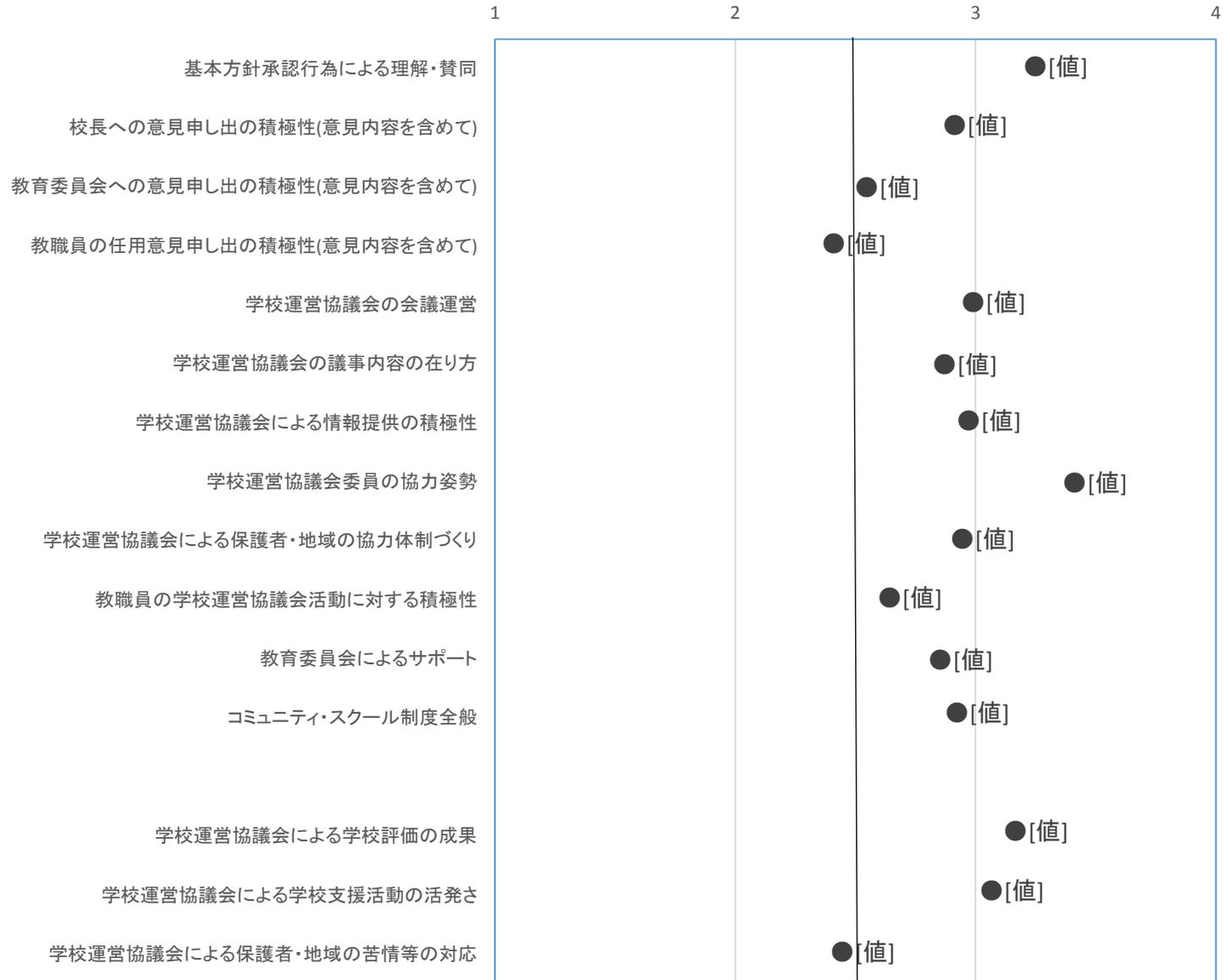
4. 調査実施時期

2015年5月～6月

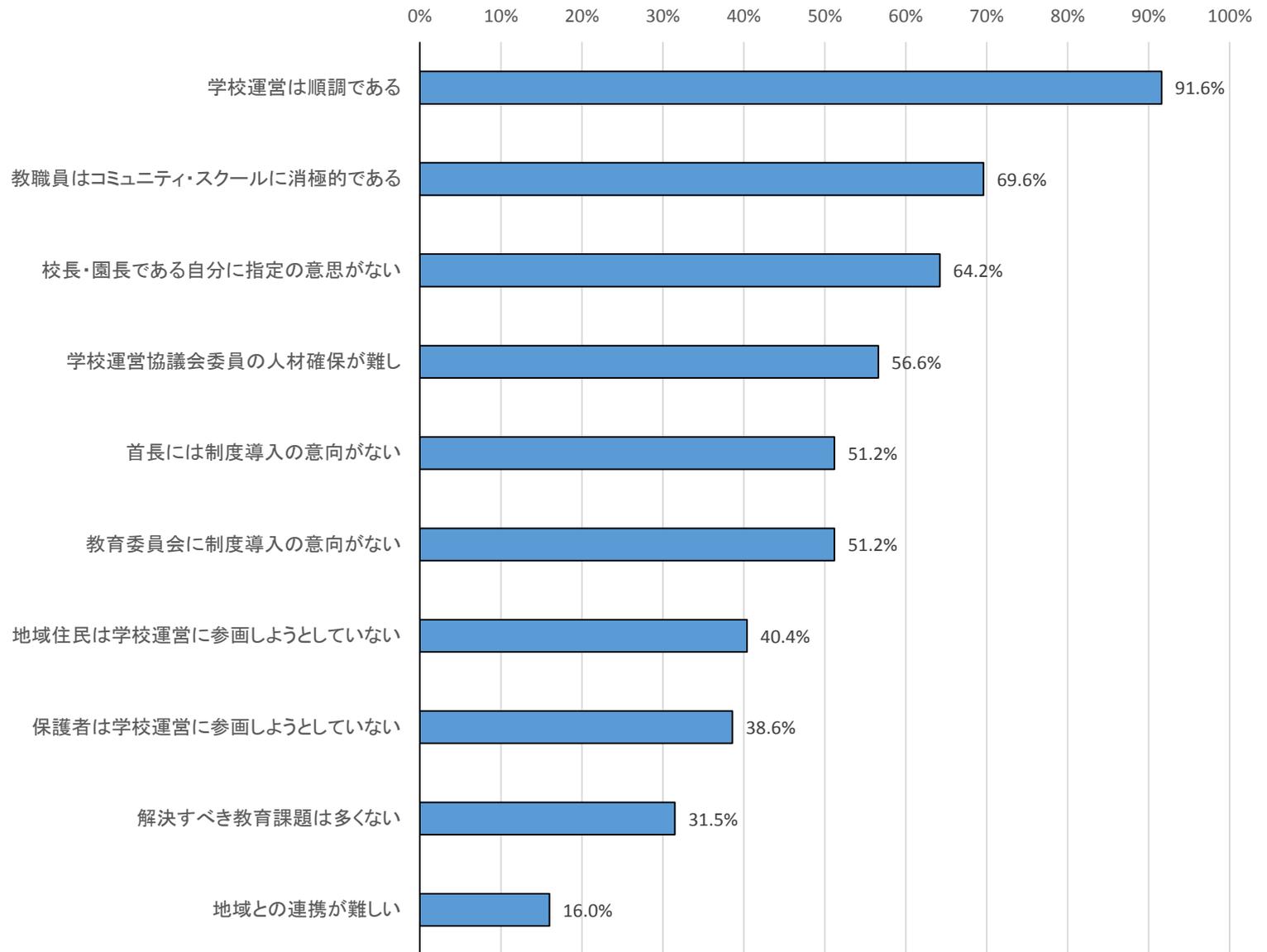
図F5 指定のきっかけー指定校＋予定校ー



図Q30 コミュニティ・スクールに対する校長の満足度スコア(指定校)ー4点満点ー

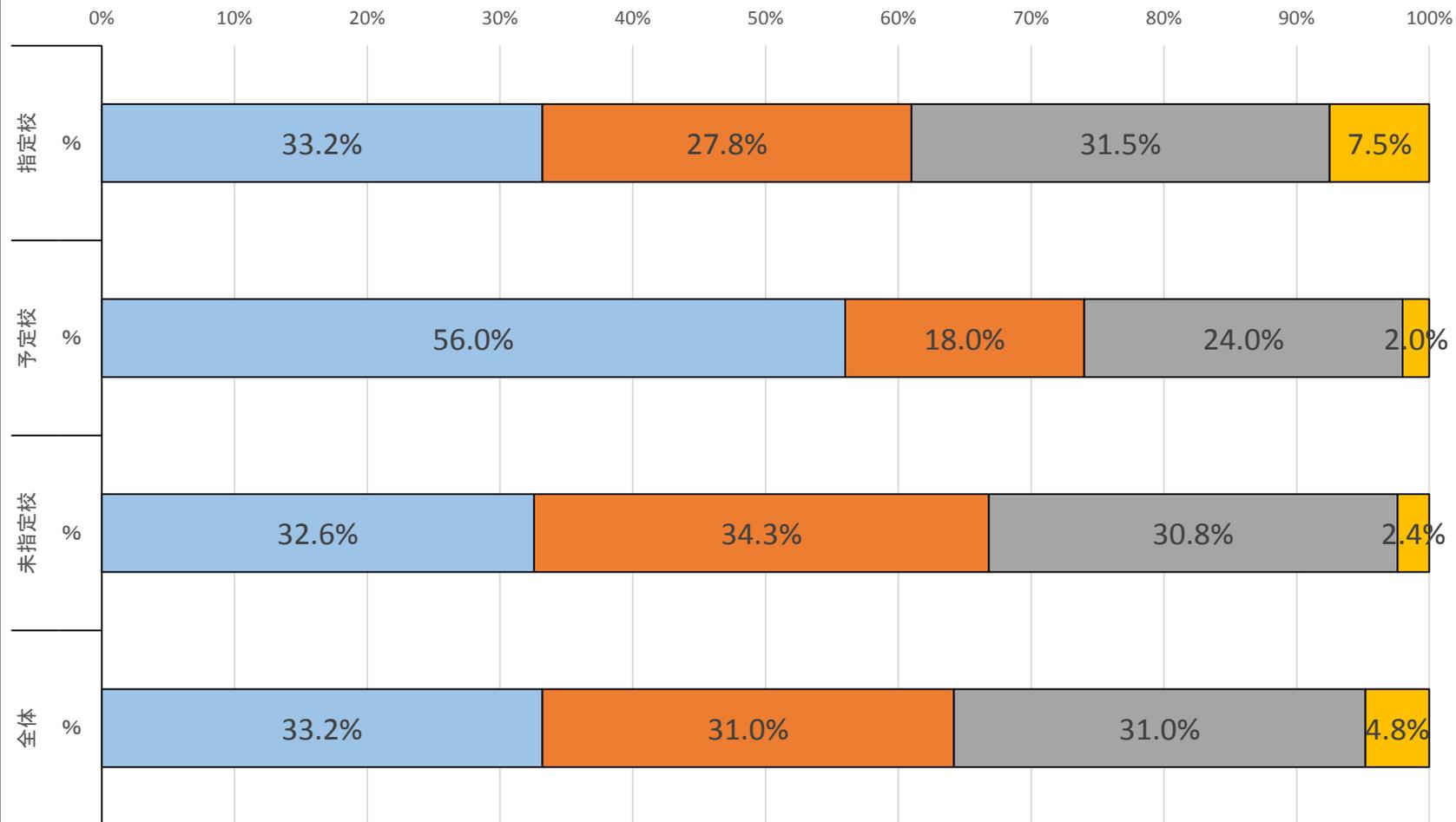


Q32 コミュニティ・スクールをめぐる状況－未指定校－

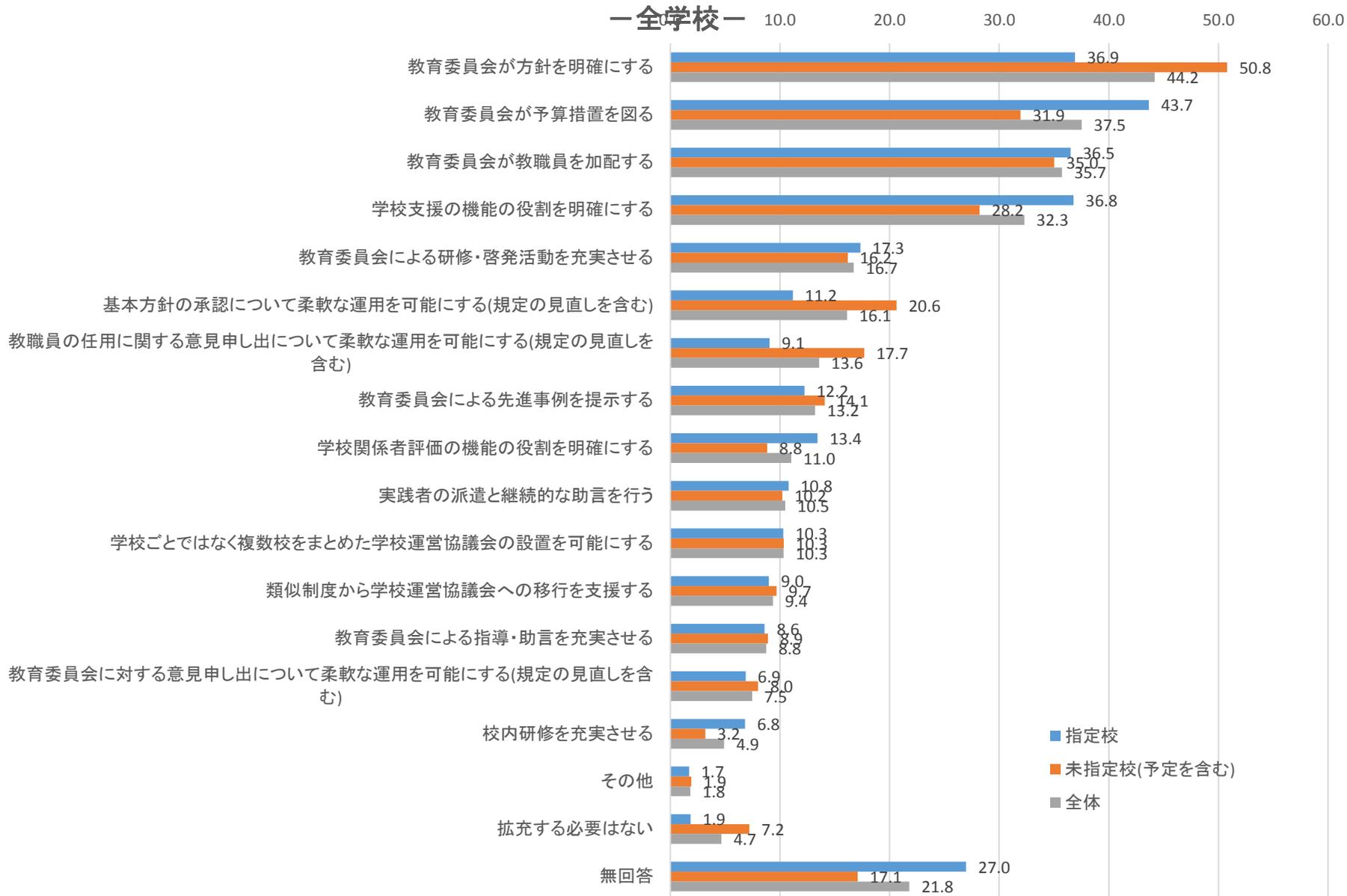


Q38 コミュニティ・スクールの設置形態の在り方

- 複数校まとめた学校運営協議会を設置できるようにする
- 校長一人配置の小中一貫教育校などの場合、複数まとめた学校運営協議会を設置できるようにする
- 現行通りに、単位学校に設置する
- 無回答



図Q40 コミュニティ・スクールを拡充していくために重要なこと(上位3つを回答)



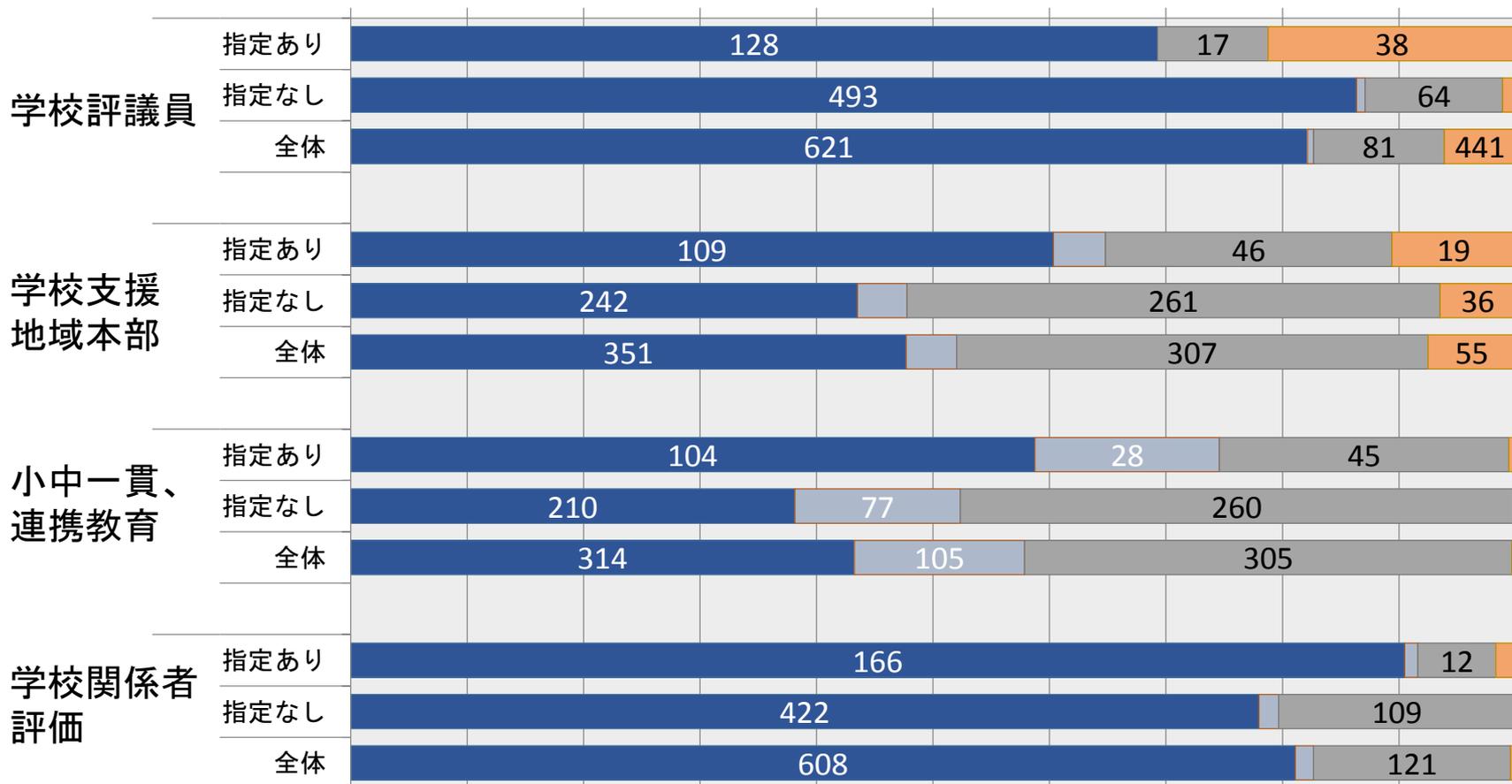
コミュニティ・スクール標本調査 —教育委員会調査結果(速報)(抄)—

常葉大学
仲田 康一

Q1 CSと他教育政策の導入状況の関係

■ 現在、実施している ■ 検討中である ■ 実施していない ■ 過去に実施していた

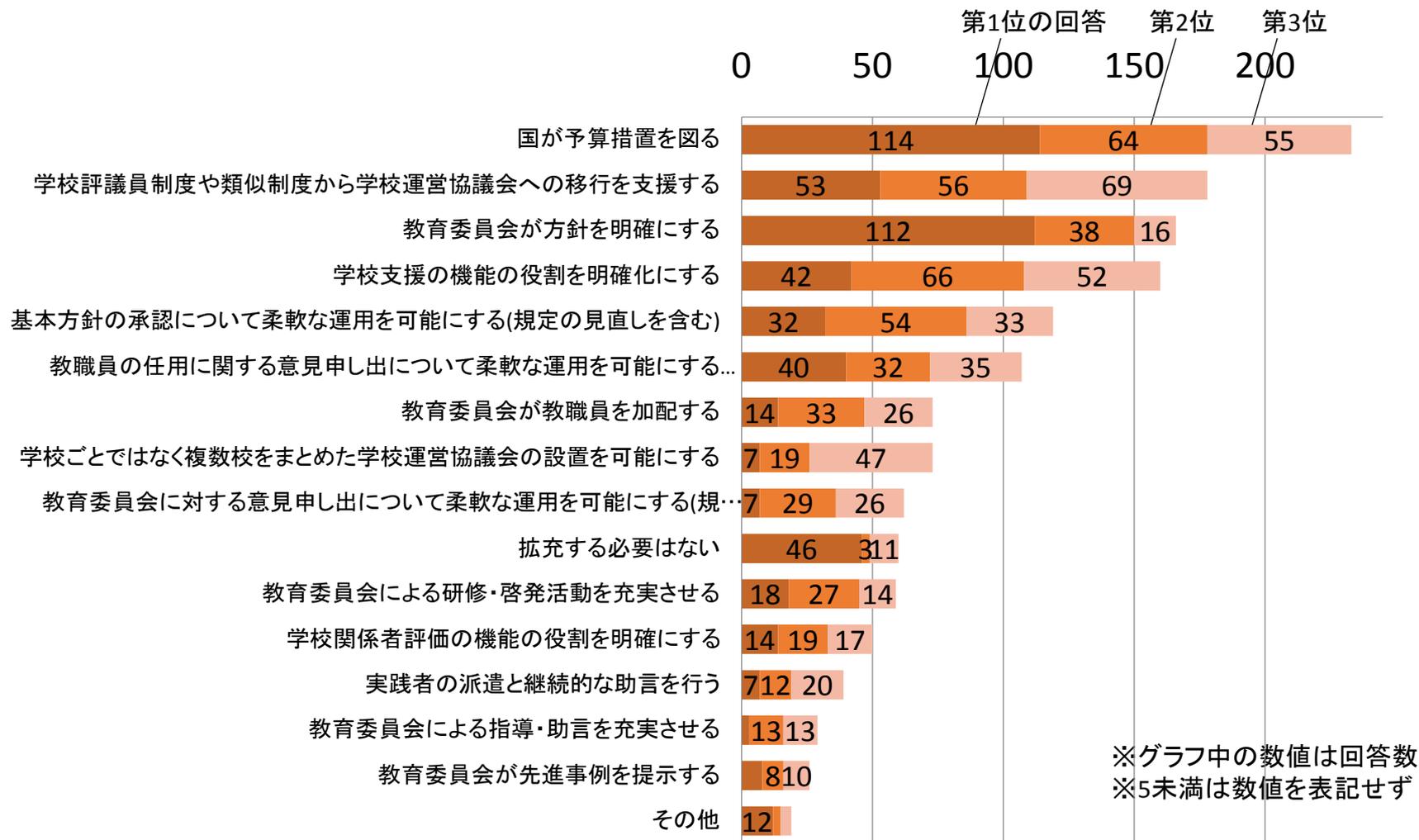
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



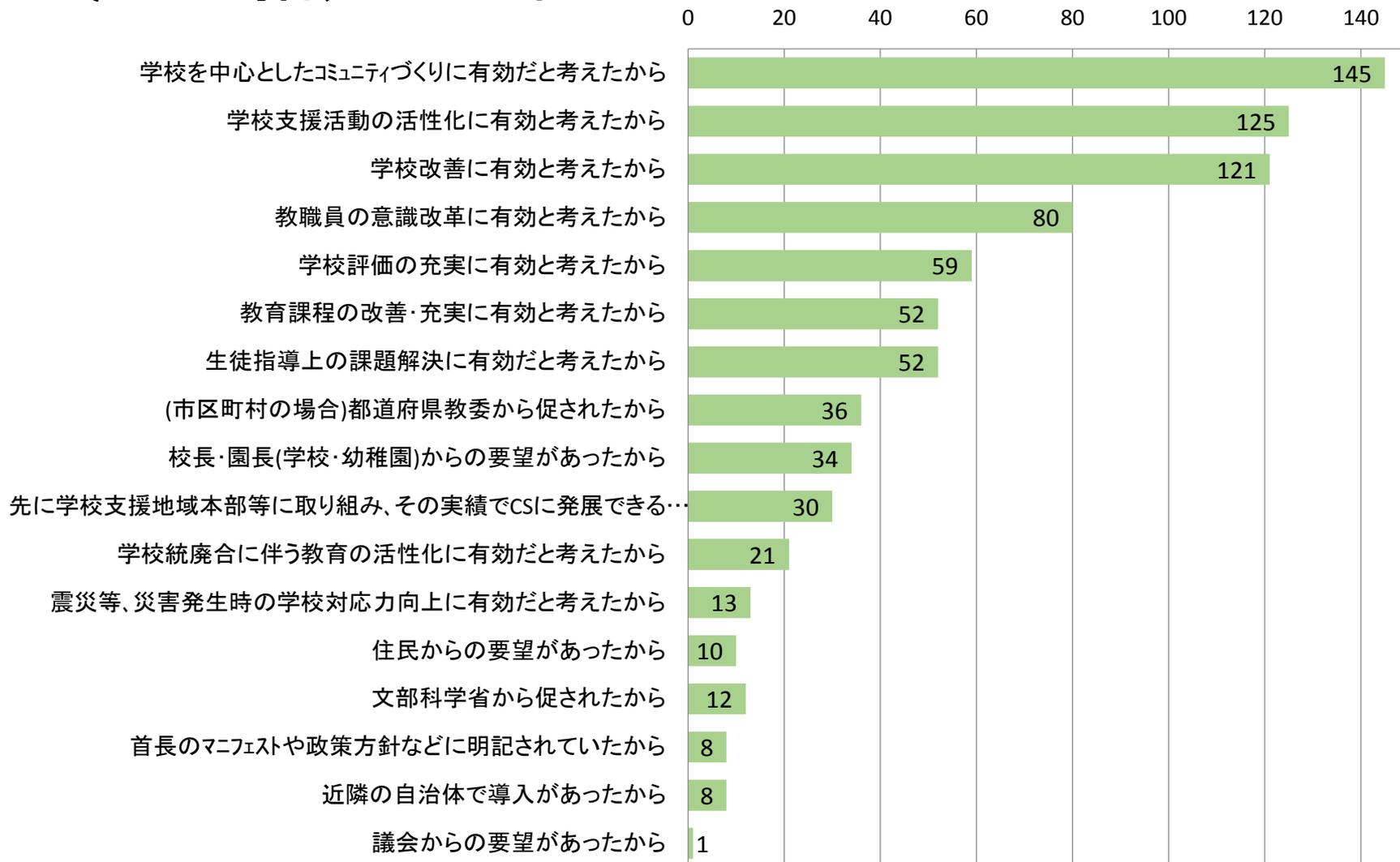
※5未満は数値を表記せず

Q4-B コミュニティ・スクールを拡充していくために重要なこと

(1位・2位・3位それぞれ複数回答)【指定なし自治体】



Q5 CS指定の理由



※グラフ中の数値は回答数

Q10 小・中一貫教育とCSの関連づけ 【指定あり&小・中一貫教育実施の自治体】

教育委員会の方針として、小中一貫教育とコミュニティ・スクールを関連づけている

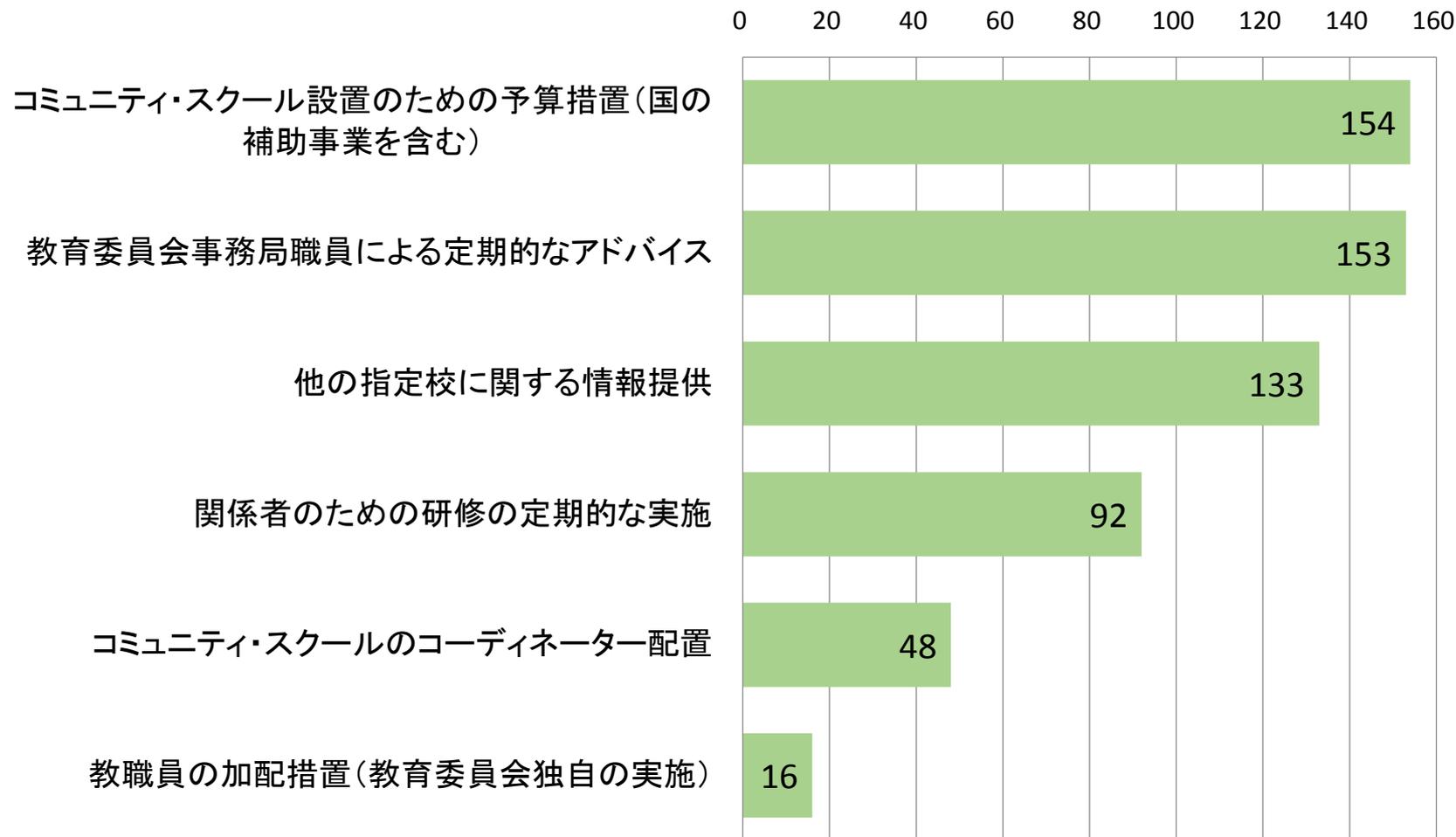


※グラフ内の数値は回答数を表す
※5未満は数値を標記せず

- 関係づけていない
- 中学校区単位に学校運営協議会の上部委員会を設置している
- 小中全校で合同会議を実施することになっている(単位校毎に会議を行わない)
- それぞれの学校の学校運営協議会の委員(一部又は全部)を兼務している
- その他

※「その他」の具体的記述はなかった

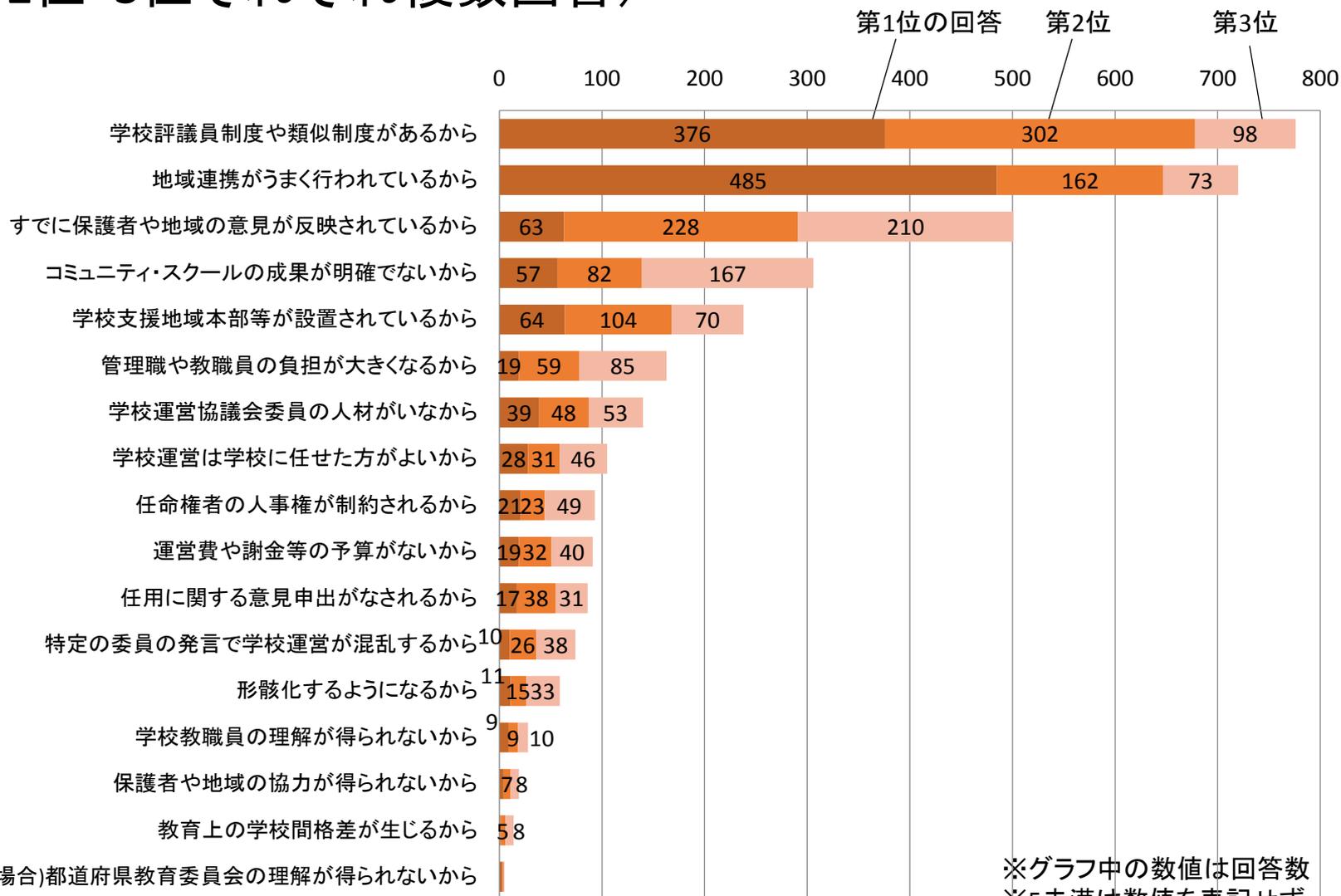
Q13 CSに対して教育委員会が行っているサポート （「あり」と回答した自治体数）



※グラフ中の数値は回答数

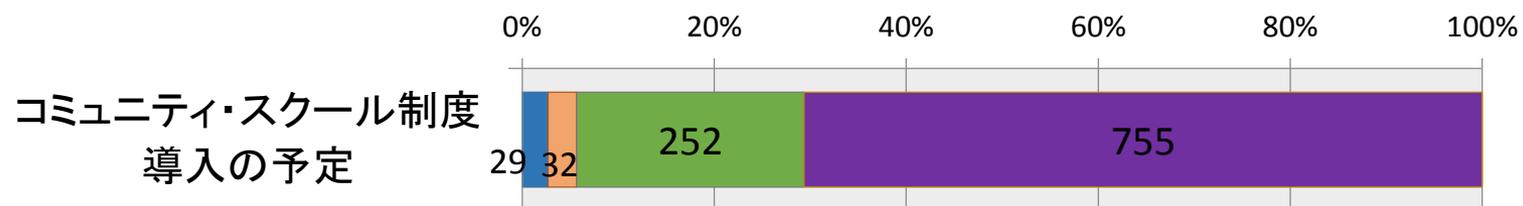
Q20 CS指定を行っていない理由(全体)

(1位・2位・3位それぞれ複数回答)

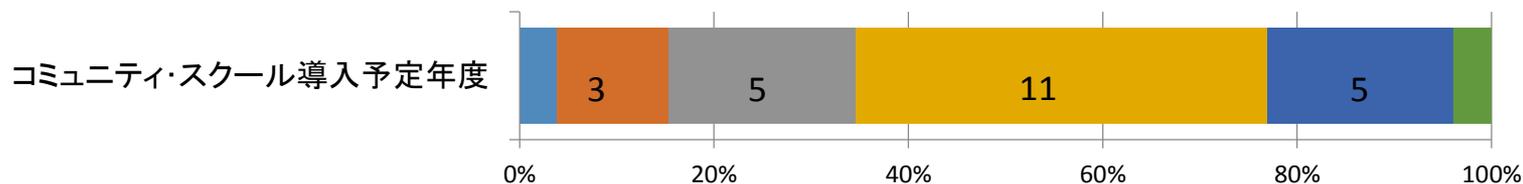


※グラフ中の数値は回答数
 ※5未満は数値を表記せず

Q21 コミュニティ・スクール指定の予定の有無



- ある
- 検討委員会などを設置し、具体的な検討段階にある
- 具体化していないが、前向きに検討しようとしている
- 現段階ではない



■ 21 ■ 26 ■ 27 ■ 28 ■ 29 ■ 30

※グラフ中の数値は回答数